

関三のあげて曰、なんといつてもせん成駒屋のおやかたにあげつけてもただだけあつてだまがたくさん出てゐるから大ぢやうぶた たうじたてがたきの大だこといつちやアほかにはあるめへ ヲイ／＼下になこついてゐる八百蔵だこもおれのあがるやうにあとからつゞひてあがつてきな エ、じれつてへ そらめんくらツた エ、たまのだしやうがすくねへといつたら ヲヤ／＼ひとこをきをもうち おれがうなりがはじめてしまつた中つるのあがて曰、ヤイ／＼一文だこからなりあがつたから■いつてさうやすくするなやつこだこで■六まいがけだぞちやつと見さまはわるい■しらねへがこのみづをくむあんばいはほかの■にやアまねができめへからあがりついたからにやモウ大ぢやうぶだめつたにそばへよるとみて■しつぽをすくつてやるぞア、よくあがつた

家橋だこのあげて曰、カウみてくれ やくらの上のしやんとあがつてちつよもうこかねへところがきつからう しかしだまをだましきつて すましてゐるのもたいくつだからどなたこへでも しつからまつて をすくつ■し(て)やらうかしらん ヲヤ／＼ごん十だこがだいぶたかあがりをするないちばんこまたをすくつてやらう こい／＼

権十郎だこのあげて曰、サアだれでもからんぞこい 江戸市川のおや玉だこのいとめをひいた ごん十だこで■だれだとおもふ ア、づかもねへしるし かきつだこをてきにとつたとち■つて はんひこだこからむのはほねがを■(れ)るがんぎをもちひいていきつてやらう イヤ／＼それよりと■くへはなれてたかくあがつてゐることだ

八百だこのあげて曰、エ、こじれつてへいくらあげやうとしてもいとがこづらかつた■をがからんだりしてきつぱりらちがあかねへ こいつはいつとをつけな■なくツちやアと

てもあがりつくことぢやア

しうかだこ せつかくあがりつかうとしたら にしのはうから かはつた女だこがあがつてきた エ、いめへましい ひつからんでおとしてやらう ヲセ／＼なか／＼こいつは手ごわい そのほつだおやだこめがかせいにでやアがるから

かめぎうだこ たとへほねぐみやいとめのぐあひはどうだらうとカウだまがたんとでてゐるからあがつておちるきづかひはねへが しかしうねりがねへからさみしくつてならねへ

小團次だこ おれのたこはちうのりのくせがついてあげかたにいろ／＼くふうをしたのでとう／＼江戸一の大だことなつたのたからあかつてゐるうちにとぎい／＼をもちひてちよつとめんくらうまねをしたりおちかゝつて見たりするのこつちのどういくだおらのあげかたはかぜにまかせるたうせい式たからいとめがきれてとんでいったところが小田原くらいサ じきにあともどりがしてから高しかにあがつてゐるときにはなんとふしぎなたこだらう

團藏だこ このくらいしやうずにあげて となりもさらしの上くらいだがなぜならねへかしらんとつもときのかぜにあはねへとみへるはへサア／＼とう／＼かぜかなげてしまつた栄三だこ おやのかぜであかりつやうなたこはチトたこがちがふわいな こちはうみかたのかぜにふかれてきたさかい お江戸のかぜばかりであかりつくたこさんとははりあうでみだはなんじやア、しんき

福介だこ あにきのたこのかぜをうけてあがるやうに思ふ人もあるだらうがわしもしやう

／＼／＼ほもじやチトたへておるはへ

彦三だこ たちあげつてきたからはほかにあひてはあるめへと思ツたら三丁目のほうから風をはこんでおれとからまうとするたこがきたぞ あなたこはほねぐみはどうでも糸目のつけやうとあげてがいゝからめつたにゆだんはならねへはへ

菊次郎だこ おひくおやまたこの小だこたちがこぢらうなりでのぼつてきたはへ ヲヤくおれががんぎを言へとするこぎかしい田子がある しかしいまにめんくらうだらうヲツト あぶない ようしんく

九蔵だこ 大だこの風のおおりでやうくこまであがりついたがゑがめだてねへからあがつたところがさみしいやうだ しかしやりんだまをだしたから おちるきづかひはなからうとおもふはへ

芝くわんだこ たこのあげやうはちよくたまをだしたりやたらにみつをくませたりするよりは かぜをみていつさんにだまをたすがかんじんだ ほねぐみはともあれ いとめのあんばいののあがりかたを見てこんなほかにやアあるめへ どうだく

田のだこ 十だひからたておはまの大だこ成たからにやアほねもいともそろつてゐるヨ四十五十になつたてまひの上げさまはなんといふことだらう ヲヤそのくせがんぎがついてゐるはへ チトからかいになにでこすつてやりませう へちつとさうまじやるまい

紫若だこ おいらは此くらいあがつてゐればほねをつてほかのたこのじやまをする事はねへ あんまりたかあがりをしていると糸がきたらとりかへができねへ 高いたこは風ににらまれるとやらでヲツトあぶねへ とろく田のだこをくすくはれた いめましい

訥升だこ あとからとんだじみなたこがあがつてきて

おれのたこへちかよるぞ こいつはめつたにゆだんはならねへ ヲヤ／＼なにをするぎだ
いちばんからんて見やうかしらん

村右衛門だこ おれのたこはあがつたところが うへがたくさんつかへてゐるし くびは
やすし となりはわるし いつそかうめんくらすてま／＼あたりへおつこちたはうがコ
ラマアよからうと思ふは／＼